

平成 29 年度 第 1 回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	平成 29 年 5 月 19 日（金） 10:30～12:00	
開催場所	二宮町町民センター 2 階 2 A クラブ室	
出席者	委員	出席者 18 名（うち代理出席 4 名）、欠席 2 名
	その他	傍聴 1 名
	事務局	政策総務部 4 名、都市部 2 名、健康福祉部 2 名
会議次第	1. 開会 2. 会長及び副会長の選出について 3. あいさつ 4. 議題 (1) 平成 28 年度 歳入歳出決算について (2) コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について (3) コミュニティバス運行計画について (4) 乗り支える仕組みについて (5) 公共交通再編利用促進委託事業者の選定について (6) 二宮町地域公共交通計画について (7) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏 名	所 属	出欠	備 考
1	長尾 秀美	二宮町	○	
2	吉野 茂	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	相模中央交通株式会社	○	
4	山崎 利通	一般社団法人神奈川県バス協会	×	
5	露木 幸一	一般社団法人神奈川県タクシー協会	○	
6	飯島 貴夫	二宮町地区長連絡協議会	○	
7	芳賀 真郎	二宮町老人クラブ連合会	○	
8	三田 哲也	二宮町 P T A 連絡協議会	○	
9	柳川 駿司	二宮町議会	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	依田 久司	一般公募	○	
12	小松 和則	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	代理（高橋）
13	安達 敏行	神奈川交通運輸労働組合	×	
14	小内 薫	神奈川県平塚土木事務所	○	代理（五十嵐）
15	福島 温	神奈川県県土整備局	○	代理（金岡）
16	成川 一	二宮町都市部	○	
17	伊澤 浩明	神奈川県大磯警察署	○	
18	永井 好紀	J R 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	代理（今井）

19	大森 宣暁	宇都宮大学大学院地域デザイン学部社会基盤デザイン学科	○	
20	小椋 淳喜	二宮町健康福祉部	○	

## 議事概要

1. 開会
2. 会長及び副町長の選出について
3. あいさつ
4. 議題
  - (1) 平成 28 年度 歳入歳出決算について
  - (2) コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について
  - (3) コミュニティバス運行計画について
  - (4) 乗り支える仕組みについて
  - (5) 公共交通再編利用促進委託事業者の選定について
  - (6) 二宮町地域公共交通計画について
  - (7) その他

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

- ・議題（1）平成 28 年度 歳入歳出決算について  
 質疑なし
- ・議題（2）コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について  
 ○利用者の比較は平成 24 年度のコミバスの実績と平成 28 年度のコミバスとデマンドタクシーの利用者を合算した数字を比較すれば良いか。  
 ●デマンドタクシーの利用者が平成 25 年度の改変前の利用者と断定はできませんので、目安程度になります。今回の改変後の目標はこれまでと同様に 1 日乗車人数は 100 人を目指しています。
- ・議題（3）コミュニティバス運行計画について  
 ○免許返納者への対応はどのようになっているのか。また、ミーヤ手形の対象者を免許返納者は年齢に限らず対象としてもよいのではないか。  
 ●現在の免許返納者はニーノ手形を無償提供する予定にしています。年齢に限らず 75 歳未満の方が免許返納をした場合もミーヤ手形を購入できるようにするかは議論をお願いします。  
 ◎75 歳以上とした理由はどうだったか。  
 ●道路交通法の改正により、免許の更新の際、75 歳以上の方には認知症の検査が始まることから、年齢を同様に設定しました。また、ミーヤ手形を買った場合は利用者にとってお得になりますが、免許を元から持っていない方との公平性を勘案して検討をしている経過があります。  
 ○収入についてどのような検討だったか。  
 ●リピーターの方の購入が予想され、収入がこれまでより減少しますが、それよりも

利用促進を目的とした割引手形などの導入に向けて検討を進めています。乗り支えていただかないと地域公共交通は衰退するため、誰でも買えるニーノ手形は乗らない方を含めて地域で買ってもらうように周知していきます。コミュニティバスだけで町全体の地域公共交通が成り立つわけではなく、路線バスの維持が重要であるため、コミバスを含めて「乗り支えるため意識を醸成する」ことを目的に導入します。

○神奈川県運転免許所持の状況は、65歳以上は90万人、40～65歳が250万人いるため、今後、高齢者の運転免許所持者が増加していく傾向にある。今後の動向を見極めて制度の拡大を検討してもよいと思う。

◎次の議題と関係するため乗り支える仕組みについての説明後に再び協議とします。

・議題（4）乗り支える仕組みについて

○先ほどの免許返納者に対する取り組みの拡大はアイデアの一つであるため、今後の検討で構わない。

○免許返納者は返納することに不安感があるため、少しでも払拭する必要がある。高齢者の生活を考えて次どうするかを考えながら乗り支える仕組みをつくる必要がある。デマンドタクシーがなくなり不便という意見があれば、次のステップへの情報として大事にしてほしい。免許返納者に対して新しいことを打ち出していくことは重要である。町内の免許返納者は70歳以上が多いのか。

○内訳の資料はないが、昨年よりも神奈川県内の免許返納者は6,000人増加している。

○利用者を増やす方策として、便利だと利用が増えるが費用が掛かる。だとしても1台増えるとかかなり便利になると思う。一つの目標として運行本数を倍にすることも必要ではないか。

●運行本数を倍にするためには、ある程度の運賃収入が見込めないと導入は厳しいです。今後は乗降の詳細な実績が出せるため、利用が多い地区は手厚くし、少ない地区は見直しを行い、利用者の利便性を高めていきます。また、既存バス路線が運行しているため、それらを有効に活用するためにも、まずは、自家用車から公共交通に乗り換えていただくことを目標とすることが重要と考えています。

◎路線バスの利用状況はどうか。

○地域密着を視点にグループ再編を行った。こちらのエリアは高齢化が進んでおり、利用者の減少が顕著に出ている。赤字が続きいつまでも続けられるわけではないため、路線バスの維持も住民の方に協力をして欲しい。様々な案を協議会で協議し進めたい。

○コミュニティバスの運行時における中学生への年齢確認は引き続き口頭とするのか。

●今までどおりをお願いします。

○交通システムの変更に対して住民の関心が薄いと感じている。変更後に気づくことや状況の変化があるため、今後、柔軟に対応することとして今回は事務局の案で構わない。

◎効果の検証はしっかり行うこと。

・議題（5）公共交通再編利用促進委託事業者の選定について

○警察署で免許自主返納者に対してコミバスの説明をしている。本委託で作成する案

内等に免許返納の記載を確実に載せてもらいたい。

◎案内チラシに免許返納の特典を記載します。

・議題（６）二宮町地域公共交通計画について

○地域住民が主体となったコミュニティ交通活性化の仕組みづくりと同様な議論は、福祉関係においても地域にお住まいの方が集まって検討を始めている。２つを合わせた議論が地域で進むと良いと思う。

●地域によって公共交通の状況や課題が違うことから、地域ごとに課題の抽出を解決に向けた研究や検討する必要があります。そのための組織として（仮称）地域住民交通協議会を地域で設立してもらい、地域単位で議論、研究、情報共有できる仕組みを作ることを考えています。

・議題（７）その他

なし

以上